

Express5800 従量課金サービス  
サービス仕様書

4.0 版

2025 年 4 月

日本電気株式会社

## 関連文書/関連サイト

資料名称	掲載先
サービスポータル	<a href="https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140110004">https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140110004</a>
Express5800 従量課金サービス <ul style="list-style-type: none"> <li>サービス仕様書（本文書最新版）</li> <li>サービス利用ガイド</li> <li>仮想アプライアンス (VMware ESXi/Hyper-V) スタートアップガイド</li> <li>仮想アプライアンス OSS リスト</li> </ul>	<a href="https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140109886">https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140109886</a>
サービス仕様書 （保守基本サービス〈HW〉用）	<a href="https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140109886">https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140109886</a>
有償交換部品表	担当営業にお問い合わせください。
NEC エクスプレス通報サービス ご利用の手引き	<a href="http://acc.express.nec.co.jp/notice/man/guide.htm">http://acc.express.nec.co.jp/notice/man/guide.htm</a>
サーバ診断カルテ活用ガイド	<a href="https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010106809">https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010106809</a>
Express5800 シリーズ製品マニュアル	<a href="https://jpn.nec.com/express/index.html">https://jpn.nec.com/express/index.html</a>
Windows Server 2025 Standard / Datacenter / Essentials のライセンス使用条件	<a href="https://www.microsoft.com/content/dam/microsoft/usetm/documents/windows-server/2025-datacenter-and-standard/oem/UseTerms_OEM_WindowsServer2025_DatacenterAndStandard_Japanese.pdf">https://www.microsoft.com/content/dam/microsoft/usetm/documents/windows-server/2025-datacenter-and-standard/oem/UseTerms_OEM_WindowsServer2025_DatacenterAndStandard_Japanese.pdf</a>
Windows Server 2025 Essentials の ライセンス使用条件	<a href="https://www.microsoft.com/content/dam/microsoft/usetm/documents/windows-server/2025-essentials-(see-section-3-l---limited-rights-versions)/oem/UseTerms_OEM_WindowsServer2025_DatacenterAndStandard_Japanese.pdf">https://www.microsoft.com/content/dam/microsoft/usetm/documents/windows-server/2025-essentials-(see-section-3-l---limited-rights-versions)/oem/UseTerms_OEM_WindowsServer2025_DatacenterAndStandard_Japanese.pdf</a>
Windows Server 2022 Standard / Datacenter のライセンス使用条件	<a href="https://www.microsoft.com/content/dam/microsoft/usetm/documents/windows-server/2022-datacenter-and-standard/oem-pre-installed/UseTerms_OEM_WindowsServerDatacenterandStandard_2022_Japanese.pdf">https://www.microsoft.com/content/dam/microsoft/usetm/documents/windows-server/2022-datacenter-and-standard/oem-pre-installed/UseTerms_OEM_WindowsServerDatacenterandStandard_2022_Japanese.pdf</a>
Windows Server 2022 Essentials の ライセンス使用条件	<a href="https://www.microsoft.com/content/dam/microsoft/usetm/documents/windows-server/2022-essentials/oem-pre-installed/UseTerms_OEM_WindowsServer2022_2022Essentials_Japanese.pdf">https://www.microsoft.com/content/dam/microsoft/usetm/documents/windows-server/2022-essentials/oem-pre-installed/UseTerms_OEM_WindowsServer2022_2022Essentials_Japanese.pdf</a>
Windows Server 2019 Standard / Datacenter / Essentials のライセンス使用条件	<a href="https://www.microsoft.com/content/dam/microsoft/usetm/documents/windows-server/windows-server-2019/retail/Windows_Server_2019_Universal_EULA_Retail_OEM_English.pdf">https://www.microsoft.com/content/dam/microsoft/usetm/documents/windows-server/windows-server-2019/retail/Windows_Server_2019_Universal_EULA_Retail_OEM_English.pdf</a>

## 改版履歴

版数	日付	改版内容
1.0	2023/12/26	新規作成
2.0	2024/6/28	現調サービス、OS 対応への対応を追加 「2.2 利用可能サーバ装置と構成」のサーバ装置の更新
3.0	2024/11/1	従量課金課金サービス向け使用量測定システムに「メータリングツール」を追加 誤記、表現修正
4.0	2025/4/1	2025/4 強化内容を反映 サービス名の変更 <ul style="list-style-type: none"> <li>月額固定 → 定額課金</li> <li>月額従量 → 従量課金</li> </ul> フォーマットの変更 誤記、表現修正

## 目次

関連文書/関連サイト.....	1
改版履歴 .....	2
1 本書について .....	5
1.1 本書の目的 .....	5
1.2 本書の改版 .....	5
1.3 用語集 .....	6
2 サービス内容 .....	7
2.1 サービス概要 .....	7
2.2 サービス構成（体系） .....	8
2.3 サービス提供メニュー.....	10
2.4 提供機能 .....	11
2.5 動作環境 .....	12
2.6 保守・サポート.....	14
2.6.1....問合せ .....	14
2.6.2....お知らせ .....	14
2.6.3....情報提供 .....	15
3 サービスレベル .....	15
3.1 サービス提供時間.....	15
4 サービス利用の流れ .....	16
4.1 利用料金 .....	16
4.2 定額課金モデル.....	16
4.3 従量課金モデル.....	16
4.3.1....従量課金モデル利用料金体系例.....	17
4.3.2....サーバ装置が複数の場合の使用容量算定.....	18
4.3.3....各 OS における使用容量算定方式.....	20
4.3.4....測定出来ない期間が発生した場合の使用容量算定 .....	21
4.4 申込/契約 .....	22
4.5 契約変更 .....	22
4.6 利用期間の延長.....	22
4.7 解約 .....	22

4.8	利用停止 .....	22
4.9	課金・請求 .....	22
4.10	サービス提供用機器の提供と撤去 .....	23
4.10.1..	サービス提供用機器の提供 .....	23
4.10.2..	サービス提供用機器の撤去 .....	23
4.11	サービス提供用機器の現調作業 .....	23
4.12	契約者が準備するもの .....	23
4.12.1..	機器設備の準備 .....	24
4.12.2..	共通の注意事項 .....	24
4.12.3..	従量課金モデルにおける注意事項 .....	24
4.12.4..	使用量測定システム .....	24
5	責任範囲 .....	25
6	注意制限事項 .....	26
7	禁止事項 .....	27

## 1 本書について

### 1.1 本書の目的

本書は、日本電気株式会社（以下「当社」または「NEC」といいます）が提供する「Express5800 従量課金サービス」（以下「本サービス」といいます）の仕様を記載した文書です。本書を秘密保持対象ドキュメントとして、当社の許可無くコピーおよびその配布、ホームページへ掲載することを禁じます。

### 1.2 本書の改版

当社は、本サービスの仕様について随時変更できるものとします。また、本書を本サービス仕様の変更に伴い改版することがあります。本書を参照する際は、最新版をご確認ください。本書の最新版は、「[関連文書/関連サイト](#)」から入手してください。

## 1.3 用語集

本書で用いる用語は以下となります。

用語	説明
サービス提供用機器	本サービスにおいて契約者指定の場所に搬入するサーバ装置・オプション品、OS、ソフトウェア
サーバ装置	サービス提供用機器に含まれる Express5800 シリーズのサーバ製品
最大容量	サーバ装置に搭載されているメモリの利用可能な最大容量値
使用容量	使用量測定システムが測定したホスト OS またはハイパーバイザが使用するメモリ使用量（月初から月末まで測定した値を平均したもの）
使用率	使用容量を最大容量で除したもの
基本使用率	60%（契約書に記載がある場合は、契約書に従う）
基本容量	最大容量に基本使用率を乗じた容量
従量使用容量	使用容量から基本容量を引いた容量 (使用容量が基本容量よりも少ない場合は、0 とする)
料金単価	課金単位あたりの使用容量に対する金額
使用量測定システム	サーバ装置の最大容量、使用容量、使用率を取得し NEC のサーバにそれらのデータを転送するシステム
課金システム	使用量測定システムで算定した利用料金の請求を行うシステム

## 2 サービス内容

### 2.1 サービス概要

本サービスは、契約に基づく設置場所において当社がサービス提供用機器の使用権を契約者に付与し、月単位での支払いで利用できるサービスです。本サービスでは、下記2つのサービスメニューを提供しています。

- ・ **定額課金モデル**

使用容量に関わらず月々の利用料金が定額(固定)となるサービスです。

- ・ **従量課金モデル**

使用容量に応じて月々の利用料金が決まるサービスです。使用容量について、物理環境の場合が物理メモリの使用量、仮想化環境の場合が仮想マシンのメモリの割り当て量（物理メモリの使用量を使いません）の1か月間の使用した容量の平均値を利用します。なお、サーバ装置を複数台契約している場合は、各サーバ装置の使用容量の合計を平均したものを利用します。

#### サービス提供の流れ

サービス提供用機器は本サービスにおいて、契約書に記載のサーバ機器・オプション品、OS、ソフトウェアを契約者指定の場所に搬入します。



※1 サービス提供用機器の設置(現調)は契約者にて用意および実施する必要があります。別途有償の現調サービスが必要な場合は契約前に担当営業にお問い合わせください。

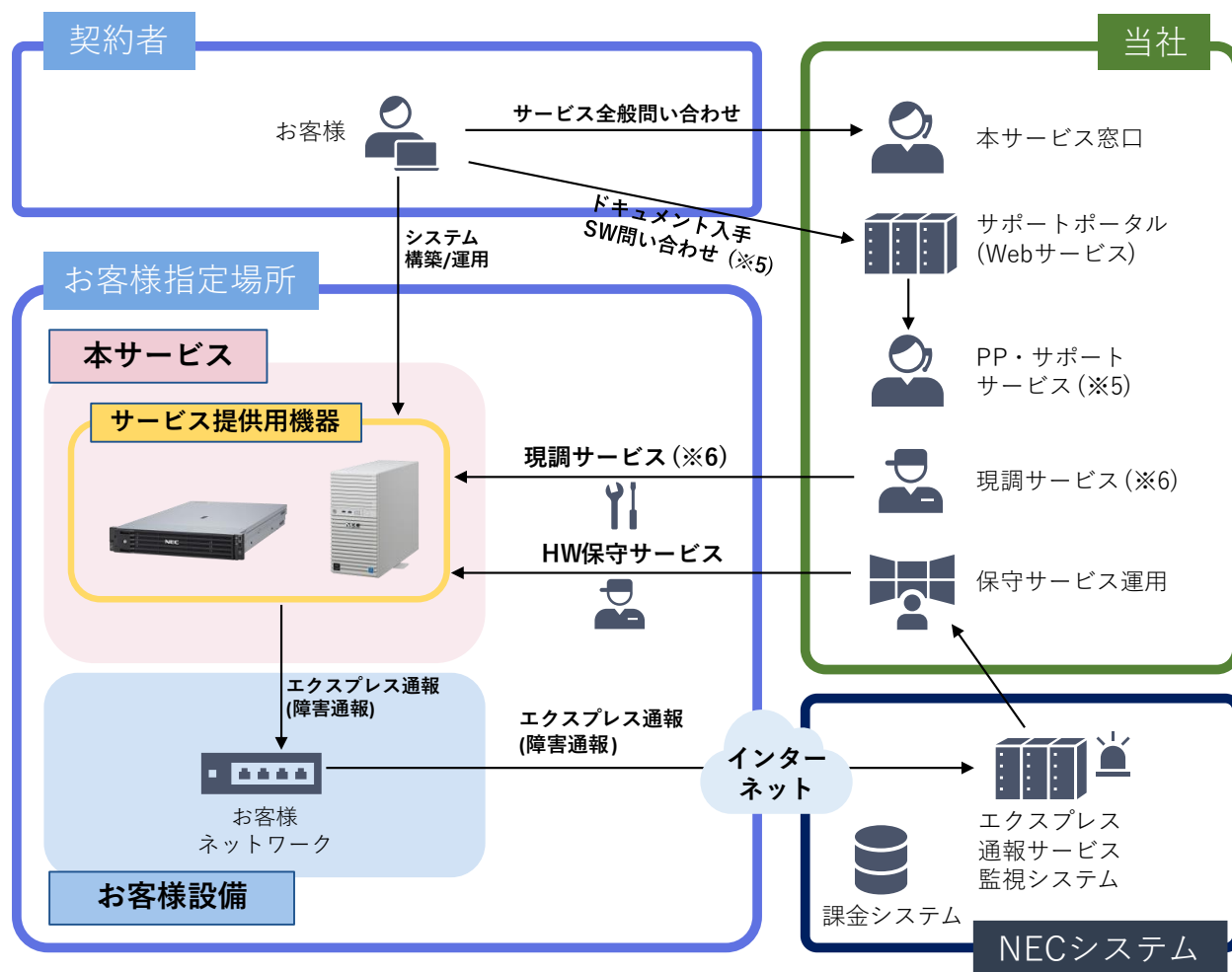
※2 エクスプレス通報サービスについて、インターネット環境・インストール・開局作業・通報確認等が契約者にて用意および構築する必要があります。詳細は、「[4.12 契約者が準備するもの](#)」をご参照ください。



- ※3 使用量測定システムはサーバ機器の使用量を測定するソフトウェアで、契約者にて用意および構築する必要があります。詳細は、「4.12 契約者が準備するもの」をご参照ください。
- ※4 契約者は当該請求書発行月の翌月末日までに支払いを行ってください。従量課金モデルのみ、基本使用料を超過した場合は、従量料金も基本料金と合算して当社より請求いたします。

## 2.2 サービス構成（体系）

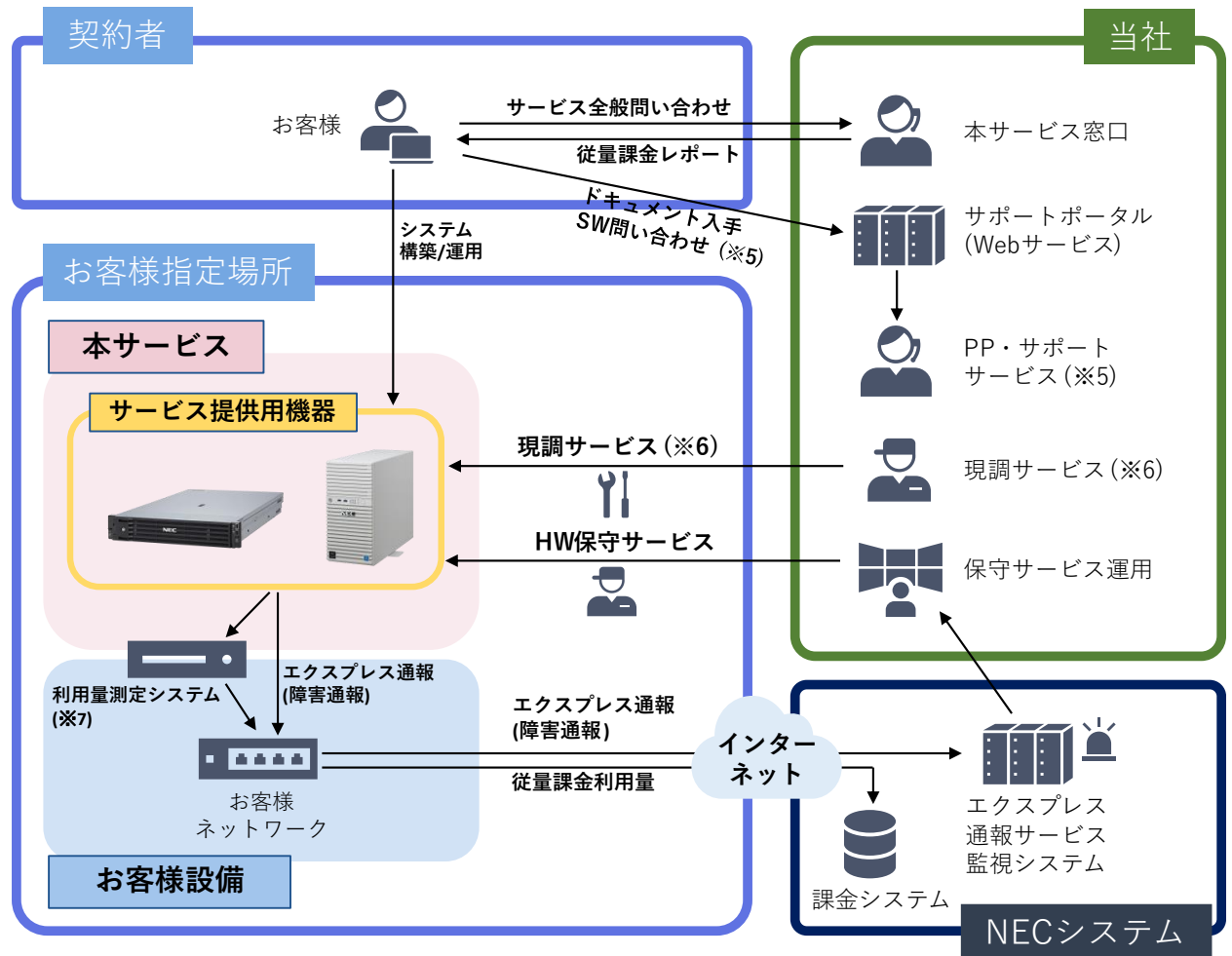
### 定額課金



※5 SW 問い合わせ(PP・サポートサービス)は有償オプションです。

※6 現調サービスは有償オプションです。

## 従量課金



※5 SW 問い合わせ(PP・サポートサービス)は有償オプションです。

※6 現調サービスは有償オプションです。

※7 使用量測定システムは使用量を測定するためのソフトウェアで、サーバ装置と同一のネットワーク環境で動作させる必要があります。同ソフトウェアはサーバ装置または契約者が所有するその他のサーバ上で動作させることができます。

## 2.3 サービス提供メニュー

本サービスでは、下記2つのサービスメニューを提供しています。

- ・ 定額課金モデル

使用容量に関わらず月々の利用料金が定額(固定)となるサービスです。

- ・ 従量課金モデル

使用容量に応じて月々の利用料金が決まるサービスです。

使用容量について、物理環境の場合が物理メモリの使用量、仮想化環境の場合が仮想マシンのメモリの割り当て量(物理メモリの使用量を使いません)の1か月間の使用した容量の平均値を利用します。なお、サーバ装置を複数台契約している場合は、各サーバ装置の使用容量の合計を平均したものを利用します。

### サービス提供メニュー

サービスメニュー			定額課金モデル	従量課金モデル
契約期間			3~7 年間 (月単位で選択可能)	
サーバ装置			Express5800 シリーズ ラックサーバ、タワーサーバ	
オプション品			サーバ装置の内蔵および周辺機器などのオプション品として月単位での支払いで利用できます。「4.1 利用料金」の基本料金に含まれます。ただし、一部対象外の製品がございます。 なお、有寿命品・消耗品について、追加購入・部品交換などは本サービス対象外です。	
対応 OS (※8)	物理環境		Windows 2019, 2022, 2025 RHEL 8, 9	Windows 2019, 2022, 2025
	仮想化 環境	ホスト	VMware ESXi 8.0, 9.0 Hyper-V (Windows Server 2019, 2022, 2025)	VMware ESXi 8.0, 9.0 Hyper-V (Windows Server 2019, 2022, 2025)
		ゲスト	問いません	問いません

※8 サーバ装置によって、対応できない OS があります。対応 OS およびバージョン詳細について、各サーバ装置のシステム構成ガイドをご参照ください。

## 2.4 提供機能

本サービスにて提供する機能は以下のとおりです。

機能一覧

サービス内容	標準搭載/オプション
サーバ装置およびサーバ装置付属品の利用権の付与	標準提供
ハードウェア保守	標準提供
現調サービス	オプション
撤去	標準提供
Windows Server OS (サーバライセンス)	オプション
Windows Server OS の保守サポート (PP・サポートサービス)	オプション
使用量測定システム及びその保守	従量課金モデル契約時、 標準提供

## 2.5 動作環境

従量課金モデルで使用する使用量測定システムの動作環境は以下の通りです。サーバ診断カルテの詳細については「[関連文書/関連サイト](#)」の「サーバ診断カルテ活用ガイド」をご参照ください。

使用量測定システムの比較

		(1-1)サーバ診断カルテ Windows 版	(1-2)サーバ診断カルテ VMware ESXi 版	(2)メータリングツール
システム概要	測定方式 ※9	Agent 形式	Out-of-bound 形式	Out-of-bound 形式
	特徴	サーバ診断カルテ (Windows 版) とエクスプレス通報サービス (HTTPS) を利用し、サーバ装置のホスト OS 上で使用量を取得し NEC へ送信。	サーバ診断カルテ (ESXi 版)、エクスプレス通報サービス (MG) を使用し、ESMPRO /ServerManager を使用し、サーバ装置の外から使用量を取得し NEC へ送信。	ハイパーバイザ上に仮想アプライアンス形式のツールを使用し、サーバ装置の外から使用量を測定し NEC へ送信。
	推奨用途	サーバ装置台数が比較的小さい場合。	サーバ装置台数が比較的多い場合。	サーバ装置台数が比較的多い場合。 iStorage 従量課金/定額課金ストレージサービスも合わせて利用する場合。
	使用量測定システム と サーバ装置間で使用する通信プロトコル	-	VMware vSphere Management API (port 443/tcp)	Windows: WinRM (http port 5985/tcp, https port 5986/tcp)  VMware ESXi: VMware vSphere Management API (port 443/tcp)
	使用量測定システム と NEC 感の通信プロトコル	https (エクスプレス通報サービス)	https (エクスプレス通報サービス (MG))	https (メータリングツール)
	インターネット接続が必要となるサーバ	各サーバ装置	管理サーバ環境	仮想アプライアンス
	SSL Inspection Proxy 対応	-	対応	非対応 (個別相談)

	サーバ装置への測定用 アカウント作成 ※10	不要	必要	必要
	対応可能なサーバ装置台数 上限	-	500 台	仮想アプライアンス あたり 64 台
サーバ装置要件	対応ホスト OS	Windows	VMware ESXi	Windows, VMware ESXi
	サーバ装置にインストール 必要なソフトウェア	サーバ診断カルテ (Windows 版)、エク スプレス通報サービ ス(HTTPS)	-	-
管理サーバ環境要件	管理サーバ環境の必要性	不要 (管理サーバレス)	必要 (契約者資産 または サーバ装置)	必要 (契約者資産 または サーバ装置)
	管理サーバ環境の要件	-	Windows Server ベア メタル または ハイパ ーバイザ (ESXi, Hyper-V) ※11	ハイパーバイザ (ESXi, Hyper-V) ※12
	管理サーバ環境にインスト ール必要なソフトウェア	-	ESMPRO/Server Manager、サーバ診断 カルテ(ESXi 版)、エク スプレス通報サービス (MG)	仮想アプライアンス (メータリングツ ール)

※9 Agent 形式とは、サーバ装置の OS 上にインストールした専用のソフトウェアが使用量を測定する方式。Out-of-bound 形式は、管理サーバ環境からサーバ装置の OS へネットワーク経由でアクセスし使用量を測定する方式。

※10 Out-of-bound 形式では、管理サーバ環境からサーバ装置の使用量を測定するために、サーバ装置 OS に専用アカウントを作成し、その後使用量測定システムに登録が必要になります。必要となる権限は「サービス利用ガイド」を参照してください。

※11 ESMPRO/ServerManager 利用のため同ソフトウェアが対応する Windows OS が必要です。同 Windows OS ライセンスは本サービスに含まれておりません。契約者による準備が必要です。なお、一定の条件を満たした場合は本サービスに含めることも可能です。動作環境の詳細は「ESMPRO/ServerManager の動作要件」を参照してください。

<https://jpn.nec.com/esmsm/kankyo.html>

※12 動作環境の詳細は「仮想アプライアンス(VMware ESXi/Hyper-V) スタートアップガイド」を参照してください。

## 2.6 保守・サポート

本サービスでは、「Express5800 従量課金サービス 契約書」で定めた保守・サポートサービスが含まれます。

- ・ 保守・サポートサービスのサービス仕様は「サービス仕様書（保守基本サービス〈HW〉用）」に従います。
- ・ 契約者がサービス提供用機器の障害が疑われる状況を認知した場合は、サービス提供用機器以外の設備やサービスに問題が無いことをご確認の上、「サービス提供用機器に対する問い合わせ窓口」にご連絡ください。「サービス提供用機器に対する問い合わせ窓口」への連絡方法は「Express5800 従量課金サービス サービス利用ガイド」を参照してください。

契約者は、次に定める契約者自身に生じた費用を直接負担するものとします。

- （１）本サービスの提供を受ける為に要した記録媒体その他の消耗品に係る費用
- （２）本サービスの提供を受ける為に要した電気料金等の光熱費
- （３）本サービスの提供を受ける為に要した通信費

契約者は、次に定める当社に生じた費用を当社に支払うものとします。

- （１）本サービスを提供するための当社の技術員による船舶、航空機等の交通機関の利用ならびに宿泊に要した費用ならびに日当

### 2.6.1 問合せ

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービスの利用方法に関する質問。</li> <li>・ サービスの不具合に関する申告。</li> </ul>
手段	契約前の問い合わせ: 担当営業へ連絡 契約後の問い合わせ: 運用担当へメール mpfs-haas-inquiry@mlsig.jp.nec.com
対応時間	NEC 営業日 9:00-17:00（日本時間）

### 2.6.2 お知らせ

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画停止</li> <li>・ 障害発生/復旧</li> </ul>
手段	サービスポータル

### 2.6.3 情報提供

公開先	サービスポータル
公開ドキュメント	サービス仕様書、約款、マニュアル、使用量測定システム

## 3 サービスレベル

### 3.1 サービス提供時間

本サービスの提供時間は「Express5800 従量課金サービス サービス約款」に記載の「契約期間」とします。



## 4 サービス利用の流れ

### 4.1 利用料金

本サービスは2つのサービスメニュー「定額課金モデル」および「従量課金モデル」があります。

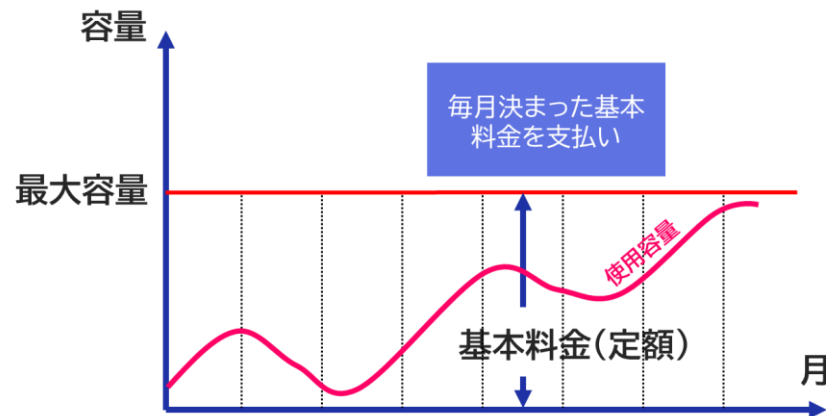
### 4.2 定額課金モデル

定額課金、サービス提供用機器を月額で提供するサービスです。

利用料金は、

利用料金 = 基本料金（定額）

により決定します。



#### <基本料金>

基本料金は、サーバ装置の構成、現調作業の有無並びに内容に応じて定めます。

### 4.3 従量課金モデル

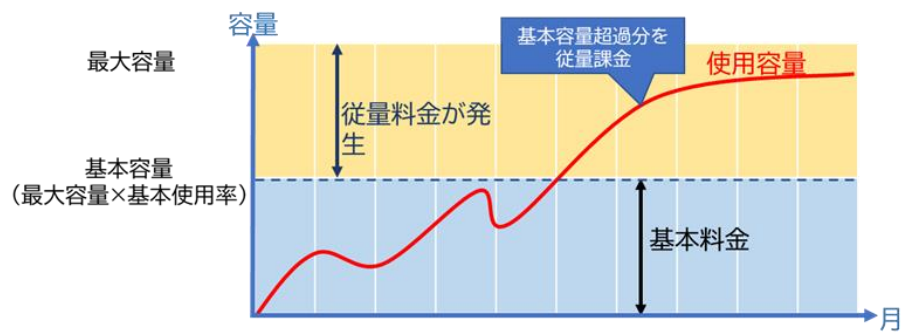
従量課金モデルは、サービス提供用機器の使用容量に応じて月額で提供するサービスです。

利用料金は、

利用料金 = 基本料金（定額） + 従量料金（最低金額0円～）

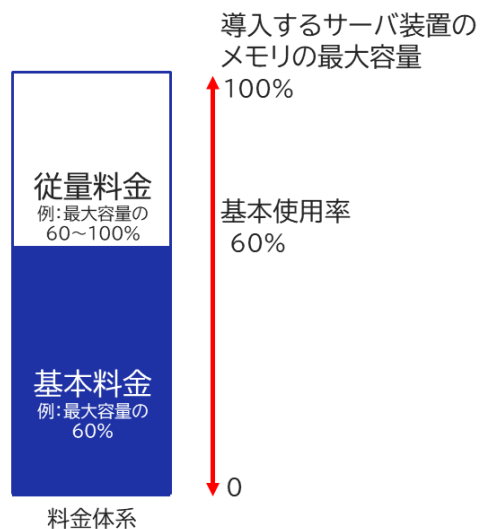
により決定します。

- ・ Band とは、料金単価を決定する使用容量の幅のことです。使用容量に応じて Band が変更し、新たな Band における料金単価が適用されます。
- ・ その他契約書に明記される条件が有る場合は、その条件に従います。



#### 4.3.1 従量課金モデル利用料金体系例

最大容量が 1,000GB、基本容量が 600GB、使用容量が 750GB、基本使用率が 60%の場合における、従量課金モデルの利用料金算定方法を例として示します。



Band 幅と料金単価例

	Band 1	Band 2	Band 3	Band 4
Band幅 (GB)	1~700	701~800	801~900	900~1,000
料金単価(円)	100	90	80	70

##### <基本料金>

基本料金は、契約書にて定義されます。

算定方法は以下のとおりです。1 円未満は切り上げします。

$$\begin{aligned}
 \text{基本料金} &= \text{<基本容量(GB)>} \times \text{<Band 1 の料金単価(円)>} \\
 &= 600 \times 100 \\
 &= 60,000 \text{ (円)}
 \end{aligned}$$

### <従量料金>

従量料金は、1 ヶ月の使用容量が基本容量を超過した場合に、従量使用容量に応じて算出される料金です。使用容量に対応する Band の料金単価に従量利用容量を乗じて算定します。1 円未満は切り上げします。

$$\begin{aligned}
 \text{従量料金} &= \text{<従量使用容量>} \times \text{<該当 Band の料金単価(円)>} \\
 &= \text{<使用容量 - 利用容量>} \times \text{<該当 Band の料金単価(円)>} \\
 &= (750 - 600) \times 90 \\
 &= 150 \times 90 \\
 &= 13,500 \text{ (円)}
 \end{aligned}$$

従量使用容量の算定は、後述のとおりです。

- ・ 課金単位 : 1GB
- ・ 料金単価: 契約書の Band で定める通り

### 4.3.2 サーバ装置が複数の場合の使用容量算定

従量課金モデルで以下の条件を満たすサーバ装置が複数存在する場合、シェアリングシステムと呼ぶ使用容量を公正に算出する仕組みが適用されます。

シェアリングシステムは、各サーバ装置の使用容量と最大容量をそれぞれ総和し、使用容量の総和を最大容量の総和を除して使用率を算出します。本システムにより、サーバ装置ごとに利用容量に偏りがある場合に従量課金料金がお得となります。

シェアリングシステムが利用できる条件

- ・ 契約書番号が同一 かつ サーバ装置の種類が同一 かつ 設置場所が同一
  - ・ サーバ装置の種類: ラックサーバ または タワーサーバ
  - ・ 設置場所: 契約者のイントラネットのネットワークセグメント

契約書に明記されない限り、シェアリングシステムは有効となります。

[例 1] サーバ装置 A の最大容量が 1,000GB、使用容量が 700GB、サーバ装置 B の最大容量が 800GB、使用容量が 300GB の場合

$$\begin{aligned}\text{本サービスにおける最大容量} &= \text{各サーバの最大容量の総和} \\ &= 1,000 + 800 \\ &= 1,800 \text{ (GB)}\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}\text{本サービスにおける使用容量} &= \text{各サーバの使用容量の総和} \\ &= 700 + 300 \\ &= 1,000 \text{ (GB)}\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}\text{使用率} &= \text{使用容量} \div \text{最大容量} \\ &= 1,000 \div 1800 \\ &= 56\%\end{aligned}$$

よって、基本料金のみ生じます。

[例 2] サーバ装置 C の最大容量が 1,000GB、使用容量が 700GB、サーバ装置 D の最大容量が 800GB、使用容量が 480GB の場合

$$\begin{aligned}\text{本サービスにおける最大容量} &= \text{各サーバの最大容量の総和} \\ &= 1,000 + 800 \\ &= 1,800 \text{ (GB)}\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}\text{本サービスにおける使用容量} &= \text{各サーバの使用容量の総和} \\ &= 700 + 480 \\ &= 1,180 \text{ (GB)}\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}\text{使用率} &= \text{使用容量} \div \text{最大容量} \\ &= 1,180 \div 1800 \\ &= 66\%\end{aligned}$$

よって、基本料金ならびに従量料金が生じます。

### 4.3.3 各 OS における使用容量算定方式

使用容量の算定の対象は以下のとおりです。

- ・ 物理環境 : ①Windows
- ・ 仮想化環境 : ②VMware ESXi、③Hyper-V

#### ① Windows の場合、または ③Hyper-V の場合

Windows OS が使用するメモリ使用量(GB 単位)を本サービスの使用容量とします。本メモリ使用容量の中に仮想マシンが使用しているメモリ容量も含まれます。課金単位 (1GB) に満たない使用容量は小数点以下切り上げとします。

使用容量 = <最大容量> - <Windows のパフォーマンスモニター「¥Memory¥Available Bytes」の値>  
/ 1024 / 1024 / 1024

#### ② VMware ESXi の場合

VMware ESXi が使用するメモリ使用量(GB 単位)を本サービスの使用容量とします。本メモリ使用容量の中に仮想マシンが使用しているメモリ容量も含まれます。課金単位 (1GB) に満たない使用容量は小数点以下切り上げとします。

使用容量 = <VMware PowerCLI の (VMware.VimAutomation.Core¥Get-VMHost).MemoryUsageMB の値>  
/ 1024

#### 4.3.4 測定出来ない期間が発生した場合の使用容量算定

従量課金モデルでは、使用量測定システムが 1 時間おきに各サーバ装置のメモリ使用量を測定します。翌月に先月月初から月末までの期間の値の平均値を算出し、使用容量とします。

サーバ装置の電源オフ、ネットワーク接続環境の問題などの理由でメモリ使用量が測定出来なかった場合、メモリ使用量を以下のルールで補完し使用容量を算定します。使用量測定システムにより算定方法が異なります。

##### (1-1), (1-2) サーバ診断カルテ使用時

- ・ 月初および月末は測定できたが、その間に測定出来なかった期間が存在する場合
  - その後測定できたメモリ使用量を遡って適用  
(複数測定出来なかった期間が存在する場合も同様)
- ・ 月初は測定出来たが、その後月末まで 1 度も測定出来なかった場合
  - 測定出来なかった期間を最大使用容量で補完 (※13, ※14)
- ・ 月初から月末まで 1 ヶ月間使用容量が 1 度も測定できなかった場合
  - 該当月は最大使用量で補完

※13 サーバ診断カルテは一週間に一度、使用容量を含むログ情報を NEC に送信します。翌月の月初に NEC が先月の使用容量を算出する際、最大一週間の期間ログ情報が NEC に送信されていない場合があります。この場合、その期間は最大使用容量で補完せず使用料金の算定には含めません。

※14 システム障害やネットワーク障害が原因で測定不能となった場合は、その期間は最大使用容量で補完せず使用料金の算定には含めません。

##### (2) メータリングツール使用時

- ・ 月初および月末は測定できたが、その間に測定出来なかった期間が存在する場合
  - その後測定できたメモリ使用量を遡って適用  
(複数測定出来なかった期間が存在する場合も同様)
- ・ 月初は測定出来たが、その後月末まで 1 度も測定出来なかった場合
  - 測定出来なかった期間を最大使用容量で補完 (※14)
- ・ 月初から月末まで 1 ヶ月間使用容量が 1 度も測定できなかった場合
  - 該当月は最大使用量で補完

※14 システム障害やネットワーク障害が原因で測定不能となった場合は、その期間は最大使用容量で補完せず使用料金の算定には含めません。

#### 4.4 申込/契約

本サービスの申し込みからサービス開始までの流れや手順については「Express5800 従量課金サービス サービス利用ガイド」をご覧ください。

#### 4.5 契約変更

契約時に定めた利用期間中に、契約者がサービス提供用機器の構成変更、ハードウェアの増設、ソフトウェアの追加、設置場所の変更を希望する場合には、担当営業にお問い合わせください。希望への対応可否を当社が判断し、可能であれば契約者と合意の上で契約の変更を行います。ハードウェア構成を当社との合意なく変更することはできません。

#### 4.6 利用期間の延長

本サービスの利用期間の終了日 18 か月前に契約者にサービス終了通知を送付いたします。契約者が本サービス利用期間の延長(7 年目以降を含む)を希望する場合には、利用期間の終了日の 13 か月前までに担当営業にお問い合わせください。希望への対応可否を当社が判断し、可能であれば契約者と合意の上で契約の変更を行います。

#### 4.7 解約

解約希望月の 90 日前までに当社所定の方法で担当営業に本サービスの解約を申し込み、解約希望月の末日(解約日)をもって利用契約を解約することができるものとします。契約者は、解約日において期間満了までの未払いのサービス料金または支払遅延損害金がある場合には、当社へ支払う必要があります。

#### 4.8 利用停止

当社は、利用者の行為が禁止事項のいずれかに該当することを確認した場合、事前に利用者へ通知することなく、本サービスの全部または一部の提供を一時停止します。

詳細については、「Express5800 従量課金サービス サービス約款」をご参照ください。

#### 4.9 課金・請求

課金・請求については、「Express5800 従量課金サービス サービス約款」をご参照ください。

## 4.10 サービス提供用機器の提供と撤去

本サービスでは契約書に記載のサービス提供用機器を、契約書に記載の契約者指定の設置場所に搬入します。利用期間の終了時にはサービス提供用機器の撤去を行います。

### 4.10.1 サービス提供用機器の提供

- ・ 当社は物流手配を行い、契約書に記載のサーバ搬入日に設置場所へ当社がサービス提供用機器を搬入します。契約者はサービス提供用機器に付帯する「安全にご利用いただくために」のマニュアルの記載にてサービス提供用機器を保持してください。設置場所への入館申請が必要な場合は、契約者にて実施してください。
- ・ サービス提供用機器に同封される構成品表を確認し、サービス提供用機器が全て搬入されていることを確認します。
- ・ 提供費用は契約書の基本料金に含まれることとします。
- ・ 提供時間は、平日の 8:30~17:15 になります。

### 4.10.2 サービス提供用機器の撤去

- ・ 当社は物流手配を行い、利用期間の終了後 30 日以内にサービス提供用機器のケーブル外しおよび機器解体は行い、撤去します。設置場所への入館申請が必要な場合は、契約者にて実施してください。
- ・ 撤去日までにサービス提供用機器の電源を落としてください。
- ・ サービス提供用機器のデータ消去は、本サービスは行いません。
- ・ 撤去費用は契約書の基本料金に含まれることとします。
- ・ 撤去時間は、平日の 8:30~17:15 になります。

## 4.11 サービス提供用機器の現調作業

本サービスでは契約者の要望に応じて、契約時にサービス提供用機器の現調作業をサービスに含めるかどうか選択することが出来ます。本サービスで提供可能な作業内容/支援内容については担当営業にお問い合わせください。

- ・ 本サービスでの現調作業の実施要否については、契約前に決定してください。現調作業を希望する場合は、当社より対応内容について契約者の合意を取り、訪問日時を調整のうえ実施します。
- ・ 本サービスでの現調作業を希望しない場合は、契約者にて実施してください。
- ・ サービス提供用機器を利用するシステムの構築は、本サービスで行いません。

## 4.12 契約者が準備するもの

本サービスの利用にあたり契約者で準備が必要なものを説明します。



#### 4.12.1 機器設備の準備

本サービスでは契約書に記載のサービス提供用機器のみを搬入します。サービス提供用機器に含まれない管理サーバ環境やネットワーク機器などの機器設備、ネットワークの接続環境は契約者にてご用意ください。

#### 4.12.2 共通の注意事項

・本サービスでは、サーバ装置がエクスプレス通報サービスを利用できるよう、エクスプレス通報サービスに必要な機器類やインターネット環境を契約者にて用意する必要があります。エクスプレス通報サービスのインストールおよびセットアップ方法は、「Express5800 従量課金サービス サービス利用ガイド」をご参照ください。

#### 4.12.3 従量課金モデルにおける注意事項

・従量課金モデルでは、使用量測定システムを利用できるよう、サーバと NEC のシステムを通信するためのインターネット環境を契約者にて用意し、使用量測定システムをインストールおよびセットアップする必要があります。

・契約者は利用期間中、常にサーバ装置を稼働状態、かつ使用量測定システムが利用可能な状態を維持してください。

#### 4.12.4 使用量測定システム

・従量課金モデルでは、使用量を測定するために「使用量測定システム」を使用します。

・使用量測定システムは 3 種類あります。1 つの利用契約に対して、(1-1)(1-2)サーバ診断カルテ または (2)メータリングツールのいずれかを契約者の環境や用途に基づき選択してください。

・容量測定システムのインストールおよびセットアップ方法は、「Express5800 従量課金サービス サービス利用ガイド」を参照してください。

・3 種類の使用量測定システムの違いについては、「2.5 動作環境」をご参照ください。

## 5 責任範囲

本サービスにおける当社および契約者の責任範囲は以下の通りです。

No.	項目	契約者	当社
1	契約書で定めた設置場所へのサービス提供用機器の搬入	-	○
2	サービス提供用機器以外の機器、インターネット回線の準備・維持	○	-
3	契約で定めた設置場所でのサービス提供用機器の設置・現調作業		
	本サービスで現調サービスを契約している	-	○
	本サービスで現調サービスを契約していない	○	-
4	使用量測定システムの準備・維持	○	-
5	エクスプレス通報サービスの準備、開局	○	-
6	サービス提供用機器の運用（データのバックアップ、ディスク使用容量や性能状況の管理・監視、構成変更の判断など）	○	-
7	本サービスの利用料金の支払	○	-
8	サービス提供用機器に含まれるハードウェアのメンテナンスおよびソフトウェアのサポート、サーバ診断カルテのレポート作成・提供（Windows Server, VMware ESXi のみ）	-	○
9	サービス提供用機器の管理・維持	○	-
10	利用期間終了時のデータ消去	○	-
11	利用期間終了後のサービス提供用機器の撤去	-	○

## 6 注意制限事項

本サービスにおける注意制限事項は以下のとおりです。

- ・ 本サービスの申し込みにあたっては当社所定の審査があります。審査の結果によっては、本サービスの提供が出来ないことがあります。
- ・ 本サービスの提供のため、当社は契約者に情報の提供や作業の協力を依頼する場合があります。これらに協力頂けず、結果として本サービス提供ができない場合、当社は責任を負いかねます。
- ・ 契約書に「対象ソフトウェアのサポート条件」が記載されている場合は、契約者は、利用契約の締結により、当該記載されている対象ソフトウェアの使用許諾条件に同意したものとします。
- ・ 従量課金の場合、当社がサーバ装置の使用容量を測定するために、契約者は利用期間中、常にサーバ装置を稼働状態、かつ使用量測定システムが利用可能な状態を維持してください。
- ・ サーバ装置の電源オフ、ネットワーク接続環境の問題などの理由で使用容量が測定出来なかった場合、「[4.3.4 測定出来ない期間が発生した場合の使用容量算定](#)」に基づき原則その後測定できた使用容量を遡って適用(後方補完)します。なお、サービス開始日までに利用料測定システムが準備出来なかった場合は、準備が完了して測定が開始されるまでの期間は、最大容量を使用したとみなします。
- ・ サービス提供用機器に格納するデータのバックアップおよびサービス終了時の消去は契約者の責任で実施してください。当社は撤去部品に残された各種情報の削除等につき、一切の責任を負わないものとします。
- ・ 有寿命品・消耗品について、追加購入・部品交換などは本サービス対象外です。契約者の負担・対応となります。対象品については、「有償交換部品表」を参照してください。
- ・ サービス提供用機器の最新のドライバーおよびソフトウェアのリビジョンは当社より提供します。リビジョンアップは契約者の判断にて実施してください。
- ・ 本サービスの提供のため、当社は契約者に使用量測定システムのアップデートの依頼する場合があります。その対応のため、サービス提供用機器や契約者のサーバ装置の設定の変更、シャットダウンや再起動が必要となることがあります。これらに協力頂けず、結果として本サービス提供ができない場合、当社は責任を負いかねます。なお、当社は契約者へ3ヶ月前に通知するものとします。
- ・ 使用量測定システムの (3)メータリングツール は製品改良のため予告なく当社からソフトウェアを変更、更新する場合があります。
- ・ 本サービスではサービス提供用機器の装置号機情報、ハードウェア構成情報、ライセンス情報およびハードウェアログ情報を収集します。契約者は当社が当該情報を下記の用途に使用することを同意するものとします。
  - ① 使用量の測定
  - ② サーバ診断カルテの提供
  - ③ 当社による製品およびサービスの提案
  - ④ 製品およびサービスの改善や開発

## 7 禁止事項

本サービスにおける禁止事項は、「Express5800 従量課金サービス サービス約款」に従います。

### 商標について

- o NEC、NECロゴは、日本およびその他の国における日本電気株式会社の商標および登録商標です。
- o その他、本書に掲載された各社名、各製品名、各ロゴは、各社の商標または登録商標です。

### 本製品で使用しているオープンソースソフトウェア（OSS）について

- o 本製品の一部（仮想アプライアンス）には、オープンソースソフトウェアが含まれています。
- o オープンソースソフトウェアの一覧は、関連文書/関連サイトの「仮想アプライアンス OSS リスト」を参照してください。

Express5800 従量課金サービス

## サービス仕様書

© NEC Corporation 2024

2025 年 4 月

日本電気株式会社

(禁無断複製)